

○一般社団法人 日本森林学会 2021 年度第 4 回（通算第 479 回）理事会・連携学会長合同会議 議事録

日時：2021 年 12 月 20 日（月）13:00～17:00

場所：日林協会館 3 階大会議室，Web 会議システム（Microsoft Teams）を併用して開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）深町加津枝，正木 隆，連携学会長）嶋瀬拓也，立川史郎，佐藤孝吉，戸丸信弘，徳地直子，佐藤宣子，理事）玉井幸治，柿澤宏昭，林田光祐，伊藤 哲，松本麻子，井上真理子，枚田邦宏，井鷲裕司，高山範理，田中 浩，黒田慶子，船田 良，大久保達弘，梶本卓也，小島克己，太田祐子，監事）駒木貴彰，主事）小田智基，山田祐亮，滝 久智，吉藤奈津子，星野大介，松本 武，山崎理正，稲永路子，水内佑輔，荒木眞岳，杉浦克明，編集部）町田庸子 [学会誌刊行センター]，事務局）稲村崇子，オブザーバー）高木美貴 [林野庁]，八坂通泰 [全林試協]

議長：丹下 健

Web 会議システム（Microsoft Teams）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

1. 第 133 回大会（山形大学）の来賓挨拶，学会企画について

林田理事（大会担当）より，133 回大会（山形大学）における来賓挨拶は公開シンポジウム内で行われることが提案され，提案の通り承認された。

枚田理事（企画担当）より，学会企画として応募のあった 5 件（ダイバーシティ担当 2 件，国際交流担当 1 件，中等教育連携推進担当 1 件，企画担当 1 件）の内容，開催日時，実施形式が報告され，学会企画として進めてよいか提案された。開催日時と実施形態について議論が交わされ，提案のとおり承認された。

2. 第 134 回大会（関西大会）の開催機関について

丹下会長より，再検討を依頼していた応用森林学会から「オンライン開催を条件として鳥取大学を第 134 回大会の開催機関としたい」と再提案がなされたとの説明があった。オンサイトでの開催可能性やプログラム編成担当や開催地区内でのサポート体制について議論が交わされ，再提案の通り承認された。

3. 第 135 回大会（関東大会）の開催機関について

玉井理事（総務担当）より，第 135 回大会（関東地区）の開催機関を東京農業大学としてよいか提案され，提案の通り承認された。

4. 日本森林学会大会の開催順（2025～2033 年）について

玉井理事（総務担当）より，第 136 回大会（2025 年）から第 144 回大会（2033 年）の開催地

区のローテーションを北海道（2025年）、関東（2026年）、九州（2027年）、関西（2028年）、関東（2029年）、中部（2030年）、関東（2031年）、東北（2032年）、関西（2033年）の順番とすることが提案され、提案の通り承認された。

5. 2022年度学会各賞受賞者の決定

表彰委員会、JFR編集委員会、日林誌編集委員会での日本森林学会賞、日本森林学会学生奨励賞、JFR論文賞、日本森林学会論文賞の選考結果と受賞候補者が井鷲理事、伊藤理事、正木理事からそれぞれ報告された。審議の結果、日本森林学会賞を井上真理子会員（森林総合研究所）、溝上展也会員（九州大学）に、日本森林学会学生奨励賞を金慧隣会員（投稿時：北海道大学、応募時：北海道大学）、田邊智子会員（投稿時：京都大学、応募時：京都大学）、萩原幹花会員（投稿時：京都大学、応募時：京都大学）にそれぞれ授与することを決定した。また、JFR論文賞をChisato Takenaka, Akihisa Fukushi, Yosuke Matsudaによる論文（26巻2号101-109頁）とShin-Ichiro Aiba, Yusuke Kira, Koume Araki, Fumiko Imamura, Taizo Ishinuki, Takafumi Nagata, Soichio Shimonishi, Shin Ugawa, Seiji Wakiyama, Toshihiro Yamada, Tsuyoshi Yoneda, Eizi Suzukiによる論文（26巻3号171-180頁）に、日本森林学会論文賞を鶴崎幸・山川博美・伊藤哲・重永英年・佐々木重行による論文（102巻225-231頁）にそれぞれ授与することを決定した。

第133回大会における学生ポスター賞の選考委員会が提案され、提案のとおり承認された。学生ポスター賞の応募は175件で、18名へ学生ポスター賞を授与予定であることが報告された。

6. 日林誌の投稿規定・執筆要綱の改正及び申し合わせの新設

正木理事（日林誌担当）より、研究不正に対応するための投稿規定・執筆要綱の改正案及び申し合わせの新設案が提案され、提案のとおり承認された。

7. 前回までの議事録

2021年度の第3回（通算第478回）理事会、第2回臨時理事会の議事録が承認された。

8. 次回理事会の開催

次回の理事会は、2022年4月に開催することが承認された。

報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

1. 第133回大会（山形大学）の準備状況

林田理事（大会担当）より、133回大会（山形大学）における公開シンポジウム実施案について報告された。

梶本理事（プログラム編成担当）より、第133回大会の発表申し込み状況、スケジュール案、開会式、閉会式の準備状況について報告された。

枚田理事（企画担当）より、第133回大会における学会企画として大学における森林科学教育に関するシンポジウムを実施することが報告された。

大久保理事（国際交流担当）より、学会企画として帰国留学生会員及び韓国、中国の森林学会員によるポスター発表、オンライン交流会を実施予定であり、企画への参加者を募集中であるこ

とが報告された。

2. 連携学会からの報告

各連携学会の会長から、役員体制、総会・大会の開催、刊行事業、表彰制度、会員数の動向、財政状況等の報告があった。

3. 総務担当・選挙管理委員会からの報告

玉井理事より、代議員選挙の結果と代議員選出理事・監事の互選投票の予定、日本農学会「総会・日本農学賞選考会」の開催日程、1件の共催・後援・協賛依頼の承認、2022年度総会を現地与Web会議の同時開催とすること、会員動向について報告された。

4. 表彰担当からの報告

井鷲理事より、日本農学会進歩賞を学会から推薦した後藤栄治会員が受賞されたこと、2022年度日本農学賞の学会推薦者が11月4日の臨時理事会で決定されたこと、第133回大会における学生ポスター賞の審査スケジュールについて報告された。

5. 広報担当からの報告

井上理事より、2021年11月1日に移行した学会の新しいウェブサイトの運用状況、メールマガジンの発行状況について報告された。

6. 日林誌編集担当からの報告

正木理事より、投稿審査状況、論文賞の選考結果、日本森林学会誌第104巻表紙写真について3名より応募があったことが報告された。

7. 日本森林学会誌あり方検討委員会からの報告

正木理事（委員長）より、日本森林学会誌のオンラインジャーナル化の具体案とそれに伴う変更案について、2022年1月までに会員に意向調査を行う予定であることが報告された。

8. JFR編集担当からの報告

伊藤理事より、出版状況、特集号の予定、Reviewer Acknowledgementの掲載、JFR論文賞の選考結果について報告された。

9. 森林科学編集担当からの報告

松本理事より、発行状況、引用文献の引用の仕方について執筆ガイドラインを改訂することが報告された。

10. ダイバーシティ担当からの報告

高山理事より、第19回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム、第20期第1回運営委員会への参加、男女共同参画学協会連絡会主催の大規模アンケートの実施、第133回大会における期間中の託児施設等利用補助についてホームページへの告知、企画シンポジウム及び会員サポート企画の実施予定について報告された。

11. 林業遺産担当からの報告

深町理事より、2021年度の林業遺産候補の推薦数が5件あったこと、今後の選定スケジュール、林野庁からの後援について報告された。

12. 中等教育連携推進担当からの報告

太田理事より、第9回高校生ポスター発表の実行委員の体制、発表申し込みが27件であったこと、大会企画として高校生ポスター企画を実施予定であることが報告された。

13. 国内研究機関連携担当からの報告

玉井理事（総務担当）より、全国林業試験研究機関協議会との連携セミナーの進捗状況について報告された。八坂全林試協会長より、当該連携セミナーが11月26日にオンライン開催されたこと、その内容、受講者数について説明があった。

議事録作成者：玉井幸治，小田智基